

銃口にくろがねの艶青葉雨

昼寝覚戦国時代より戻り

四十万の山の重なり滴れり

意志ありありと横顔にみどりさす

ひろびろと沼の風入れ夏座敷

路地奥に老舗のパン屋額の花

高原の風に色増す額の花

長篠の瀧音のほか皆敵ぞ

紫陽花に落つる雨音墨を磨る

いにしへの風に舞ふなり能登上布

健康な虫喰ひキヤベツ貰ひけり

桑の実へ手を伸ばし身を伸ばすなり

いちめんのネモフィラの海溺れさう

穂の国の水豊かなり植田風

魚釣りの顔ぶれ揃ひこともの日

村	馳	島	下	高	岩	深	中	大	宮	岸	平	松	安	松
中													田	本
昌	修	教	栄	トキ	恵	誠	修	順	恵	三	間	井	青	淳
惠	子	恵	子	子	子	一	子	子	子	恵	裕	節	葉	子

◆◆◆剛一選◆◆◆

拍子木の澄みし一打や神輿發つ
遠くよりさざ波の来て水張田
花蜂の羽音響けり花の中

初鳴きは雨空でありほととぎす

生きてゐる事も忘れて三尺寝

湖青く水を湛へて朴の花

畦塗るやところどころを平手打ち

つばくらめ嬌歌の丘を自在にす

大水車青葉風受けよく回り

花筏解き放たれて海へ出づ

青嵐両手拝げて息を吸ひ

新玉葱のぼこぼこ干され新居宿

城址に探す四つ葉のクローバー

緑さす金刀比羅宮や海風げり

足音の近づいて来る昼寝覚

原	下	谷	小	富	大	野	福	滑	江	小	倉	橋	菊
地	村	野	田	貫	口	田	川	川	田	山	持	田	池
幸	安	明	はるみ	邦	光	信	慶	子	和	江	たけし	章	公子
紀	代	子		子	広	子	子		実	蝶		三	三夫